事務事業評価表

記入年月日

平成16年4月12日

平成16年度	事業コード	15210	電話	042-769-8288			
担当部課名	生涯学習部 ▼	スポーツ	課 ▼	スポーツ	係 ▼		
事務事業名	スポーツ振興事業						
予算上の事務事業名		スポーツ振興事業					

1 総合計画における位置づけ

政 策 名	▼ 第	5	章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第	2	節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	45 一年
施策名	第	1	施策	スポーツ・レクリエーション活動の促進	15 ▼ 十反

2 実施根拠及び関連法令等

スポーツ振興法

3 事務の区分 4 経費の区分

5 事務事業の分類

6 受益者負担

自治事務

投資的経費

市単独事業

あり

•

l) .

7 事業概要

· 5·×(m)		
(1)事業の目的何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
本事業は、総合水泳場サブプール冬季閉鎖に伴う管理費減額分に見合う財源で、市民のスポーツ	市民	
振興に寄与することを目的に、平成15年度は、著名人によるスポーツ教室の開催を行ってきた		
が、平成16年度からは、全国水準より低い市民のスポーツ実施率の向上を目指し、その対応策		
として、平成16年3月に策定した「スポーツ振興計画~地域スポーツ活性化プラン~」に位置付	対象数	単位
けた「総合型地域スポーツクラブの育成」を中心に、そのモデル地区を選定し、地域住民が主体 となって、スポーツをいつでも楽しむことができるよう事業を推進する。	620 551	Ţ
こなりに、スポープをいっても未びむことができるより事業を推進する。	620,551	

(3)平成15年度事業の内容…市が実際に行った事業の内容 |

- ・「木原光知子の水泳教室」(相模原市体育協会に委託)初心者水泳教室年2回、健康教室年2回 受益者負担額:総合水泳場入場券(400円)、参加者数:339人【決算見込み額】2,000千円 ・「NHKスポーツパーク松岡修造のテニスパーク」主催NHK横浜放送局ほか(相模原市体育協会に委託)
- ・「NHKスポーツパーク松岡修造のテニスパーク」主催NHK横浜放送局ほか(相模原市体育協会に委託) ショートテニス教室、エキスパート入門、松岡修造へのチャレンジコーナーなど。参加者数:152人(他観客等900人) 【決算見込み額】145千円
- ・【参考】平成16年度~

平成 1 6 年 3 月に策定した「相模原市スポーツ振興計画~地域スポーツ活性化プラン~」に基づき、総合型地域スポーツクラブ育成のためのモデル地区を選定し、クラブ育成事業を推進する。

(4)個別計画の概要 | 概要 |

計画名	スポーツ振興計画 ~ 地域スポーツ 活性化プラン ~					
計画年次	平成	16	年度~ 平成	25	年度	

市民自らがスポーツへ取り組むことを基本として、地域におけるスポーツ環境の整備、青少年期のスポーツ環境の整備、指導者の確保、スポーツ施設及びスポーツ情報提供体制の充実を基本目標に推進するもの。(H16.3計画策定)

8 評価指標…事業の目的達成度を計るための指標

16.17年度は日標値

	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	扌	旨標の	推移(年度))
	事業参加率	参加人数/募集人数×100 【H15】491/460(%)	【 H15】市民ニーズに合ったもの か判断する。	1 3	1 4	1 5	1 6	1 7
成果指標	(H15)、会 員数(H16 ~)		「H16】地域住民のスポーツ実施の変動を判断する。			107	ı	-
活動指標	事業参加率 (H15)、事 業参加回数 (H16~)	参加人数/募集人数×100 【 H15】491/460(%) 【 H16~】クラブ事業への参加回数 参加者数計/会員数(回)	【 H15】市民ニーズに合ったものか判断する。 【 H16】会員のスポーツ事業参加状況で、その事業内容がニーズと合っているか等を判断する。			107	1	,

9 事業費等の年度別状況

ſ	金額単位	•	千	ΠΊ
٠.	ᄴᇠᅲᄖ			J ,

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	
		決 算	決 算	決算(見込み)	予算	予算 (見込み)	
事	決算 (予算)額			2,145	1,000	5,000	
	人員・時間数			1 • 32	4 · 1920	4 · 1968	
業	人件費			128	7,623	7,813	
	その他経費						
費	合 計	0	0	2,273	8,623	12,813	
7	寺 定 財 源						
対	象数(人)	-	_	620,551	620,551	620,551	
単位	泣あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	3.7	13.9	20.6	

10 個別評価(担当課による一次評価)								
(1)達成度	A:達成している		成果指標の達成度 ▼ 高 □	中 □ 低				
評 価	B:一部達成していない	チェック 項目	活動指標の達成度 🔽 高 🗆	中 □ 低				
A ▼	C:達成していない		事業目標の達成度 ☑ 高 □	中 □ 低				
		説明	15年は、著名なスポーツ選手による指導を実施し、 とができた。	多数の参加者、見学者を得る				
(2)必要性	A:適応している		☑ ・市民や社会のニーズにかなっている					
	B:一部適応していない	チェック	☑ ・状況の変化(対象や内容)に対応している					
評価	C:適応していない	項目	□ ・当初設定した事業目的が達成されていない					
A ▼			▼ ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、下					
		説明	見在、スポーツを核とした「市民の健康増進」、「地域 -期待されており、新たに推進していく「総合型地域 <u>・た課題解決と市民のスポーツ実施率向上のために</u>	スポーツクラブの育成」は、こう				
(3)有効性	A:有効である	チェック項	▼ ・上位の施策、計画目的達成のために有効で	ある				
評価	B:一部有効でない	目	□・期待された成果が得られている					
A ▼	C:有効ではない	· 説明	16からの事業は地域住民が主体となり、身近な場所である。 できるよう、行政とともにスポーツ振興を推進すること					
(4)効率性	A:優れている		☑ ·予算や人員に見合った効果が得られている					
	B:一部改善の余地がある	チェック	□ ・他市と比べてコストや効率性が優れている					
評価	C:改善の余地がある	項目	□ ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れ	にいる				
B ▼			□ ・同一対象者に対して同種のサービスが重複					
		説明	15の事業運営自体を専門ノゥハゥのある団体が行 fする。 H16からの事業については、地域へ補助して <u>事業との統廃合などの整理が必要かと思われる。</u>	ったため、効率は良かったと判 こいる事業が他にもあり、その				
(5)公平性	A : 公平である		▼ ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥	当な範囲である				
評価	B:一部公平でない	チェック項 目	デェック項 図 ・受益者の費用負担は適正である					
A ▼	C:公平でない		▼ ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
		説明	15事業は広報紙などで募集し、幅広い年齢やレベ した。	ルの方が参加できるような内容				
	上及び費用対効果							
地域住民と行政、学校、企業などがお互いの立場と期待する 内容について、理解と連携を深めながら、地域住民の自主 的な活動を支援できる体制づくりを推進していく。 加速を持って事業を推進するための中心的な役割を行うことができる人の発 施。								
11 総合評(西(担当課による一) 		類似事業との比較					
±π /≖	AAA ▼	平成12年9	に国が、「総合型地域スポーツクラブの育成」を中心					
評 価			その育成について急務としているが、現実としては トイ トト較できない	まだ県内自治体の支援を受け				
今後	での創設はなく、比較できない。 今後の進め方							
▽	継続							
			関する説明 D事業については、市民のスポーツの普及啓発に1					
	見直し	が、平成16	E度からの「総合型地域スポーツクラブ育成事業」は	、スポーツ実施率が全国水準				
	完了·廃止	より低い相模原市にとって、さらに重要な施策であり、地域住民と行政、学校、企業などが連携 し、市民が健康でいきいきとした潤いのある生活が送れるよう、スポーツの振興を推進していく。						
	□ 完了(廃止)済 また、今後の事業推進にあたり、モデル地区以外の地域からも、クラブ創設の活動が起こることを想定し、さらなる施策拡充も視野に入れておく。							
12 二次評(12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)							